

ESD のひろばでは、日常の様々な事柄から、持続可能性についてお話しをしています。

先月は虹の森保育園を卒園したばかりの子ども達がランドセルを見せに来てくれました。最近はランドセル選びの時期が早くなり 5 月から展示会が始まっているようです。今月はそのランドセルの話題から話を広げていきたいと思います。

ランドセルどれにする？

私が小学生の時はランドセルといえば、ほとんどが黒か赤でしたが、今はとてもカラフルで個性豊かになりましたよね。

皆さんは、これから子どもさんのランドセルをどのように選ばれるでしょうか？ランドセルを買いに行く前は、子どもの意思を尊重するという方がほとんどのようですが、いざその場になると親の好みに誘導してしまうケースも少なくはないようです。

その様な背景の中、あるランドセルの会社が面白い試みをしました。

親は別室で見守り、子どもは色とりどりの展示品の中から、ランドセルを選びます。子どもが選んだランドセルを見たほとんどの親は「やっぱりね。」とか「この色好きだからね。」などと納得しています。ところが、子どもが選んだランドセル。実は・・・子どもに「お父さん、お母さんが喜ぶ色のランドセルを選んでください。」と言われ、選んだものだったこと知らさせれます。そして次に子ども達は本当に使いたいランドセルを選びに行きます。保護者の予想とは違う色を、笑顔で選ぶ子ども達。

ある男の子はピンクのランドセルを選び、お父さんは子どもさんと話しあいをしました。そして、途中で買い直すことはしないという約束でピンクのランドセルを買ったそうです。（このお話しは動画にはありません。）

この試みを観た保護者からは、「感動した。」という声がある一方、「この年齢の子どもが決められるのか？」、「そんなに子どもの意思を尊重しなければならないのか？」という声もあったそうです。

皆さんも試しに動画をご覧になってはいかがでしょうか？（youtube：ランドセル選びドキュメンタリー-編）

このランドセルの話しには「ジェンダー」、「心の性」、「マイノリティ」、「自己決定」などたくさんのメッセージが含まれていると私は感じました。

今後もこれらのことをテーマに加えながら、ひとつずつ皆さんと考えていきたいと思っています。

お知らせ

昨年度の虹の森の保護者会の役員さんには「保護者会 ESD 推進委員会」を発足していただき、子ども達への行事のお土産や、お土産のパッケージを持続可能な視点で選んでいただくなど、ESD を推進していただきました。ありがとうございました。

そして今年度も役員さんには引き続き「保護者会 ESD 推進委員会」に就任していただきました。

これからも保育園と保護者とが一緒になって子ども達の持続可能性を育んでいけますように、ご協力をお願いいたします。

